

【パシコン・オリコングローバル・ソフトバンク 道路メンテで相互協力
米国での受注目指す】

パシコン・オリコングローバル・ソフトバンク 道路メンテで相互協力

パシフィックコンサル
タンツ(重永智之代表取
締役社長)、オリエンタ
ルコンサルタンツグロー
バル(米澤栄二代表取締
役社長)、ソフトバンク
(宮内謙代表取締役社長
兼執行役員兼CEO)の
3社は22日(米国東部標
準時間)、米国ワシント
ンD.C.市内のホテル
で「コネクテッドカーを
利用した道路インフラメ
ンテナンス等に関する技
術・事業化検討に向けた
相互協力に関する覚書」
を締結した、と発表し

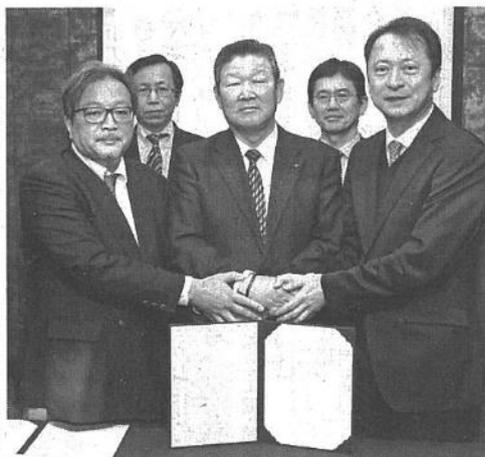
米国での受注目指す

た。
パシフィックコンサル
タンツによると、同社が
2018年度に総務省か
ら受託した「アメリカ合
衆国におけるアプローパ
報を活用した高度なシス
テムの展開可能性に関す
る調査等の請負」業務が
今回の覚書締結の端緒だ
という。
米国では道路インフラ
メンテナンスの高度化と
コストダウンが課題にな
っており、自動車に搭載
されたセンサーが、ネッ
トワークを経由してさま

ざまなものとつながるコ
ネクテッドカーが発する
アプローチデータが、これ
らの課題解決や改善に寄
与するものと期待されて
いる。

このため、3社はそれ
ぞれが保有する国内外の
公共インフラの知見や経
験と、ソフトバンクが有
するIoTなどに関する
知見やノウハウを活用。
米国の道路インフラメン
テナンスに関する技術・
事業化の検討を進めてい
く。
また、将来のODA

(政府開発援助)や日本
タビビジネスにいち早く取
国内での事業展開を視野
り組み、米国内の道路イ
に入れつつ、米国の道路
ンフラマネジメント案件
インフラメンテナンステ
の受注を目指していく方
野でIoTやビッグデー
ー針だ。



前列中央はパシフィックコンサルタンツの長谷
川伸一取締役会長、前列左はオリエンタルコン
サルタンツグローバルの柴田純治執行役員、前
列右はソフトバンクの宮川潤一副社長